

自立と共生！

たくましい日本！

No. 200号

民主党 中川正春の **永田町かわら版**

2003年9月3日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128

FAX 03-3508-3428

<http://www.MASAHARU.GR.JP>E-mail g03063@shugiin.go.jp**○解散総選挙間近。11月9日投票日。よろしくお願ひします。**

自民党が総裁選を控えて、小泉再選の是非をめぐる派閥の領袖達がうごめいています。「線香花火のあげっ程度、茶番劇では、迫力がないよ。」とは、私の所にくる番記者たちの話です。9月の半ばには小泉さんが再選されるのだと思います。そして臨時国会が開かれた途中で、解散総選挙となる見込みです。10月28日告示、11月9日が投票日。中川はこのように決めましたので、よろしくお願ひします。

毎日、地域やさまざまなグループの懇談会を開き、みなさんの思いを聴き取る事に一生懸命です。

凶悪犯罪だけではなく、日常の身近なところでおこる自動車のピッキング、泥棒、暴力沙汰のケンカ、家庭内暴力などなど、懇談会の冒頭に必ず話題になります。日本の安全神話が確実に崩れてきたのを感じます。

次に矛先が向けられるのは、私達政治家に対する批判です。曰く、「皆が苦勞しているのだから、給与や退職金を下げる。鈴木宗男のように投獄された政治家に給与を支給する事は即刻やめる。定年制をいって長老を止めさせる。議員定数を削減する。参議院を廃止するか、見直す。」政治が国民の期待に充分に応えていないことが、私達に対する厳しい批判となっていることを、肝に銘じます。

それぞれ業界団体の抱える問題、特に、地域経済の落ち込みが深刻なこと。市町村合併が地域の未来に対する展望を本当に開いてはいないこと。減反の行き詰まりに答えをだせない農業政策。食や生活の安全に対する不安など、話題はつきません。私達、民主党に対する期待が膨らんでいる事を実感します。それだけに、「もっと、しっかりせなアカン。正春さん。」このことです。

国民の声の中から、私の政治活動の原点をもう

勉強して経済企画庁に入りました。最近までOECD(経済協力開発機構)のパリ本部に勤務して、経済開発の専門家としてしっかり活躍してきた人です。もともと政治家を志していた彼にとって、奥さん(有美さん)の実家のある伊勢市辻久留に骨を埋める覚悟で、5区から新しい政治に挑戦すると言います。

私は、最初の彼の経歴からくるイメージで、パリ帰りのナヨナヨとした官僚かなと、思っていました。実際、あつて話をしてみるとそのイメージとはまったく正反対の人物だと分かりました。彼のごつい顔かたちには素朴で実直な性格が、必ず地域の皆さんからは、好感をもって迎えられる事まちがいなしだと思ひます。私達の勢力にとっては、とても厳しい選挙が強いられると分かっているだけに、あえてそれに挑戦する気概を持って決断してくれた事を感謝しています。

○活き活き人生に出会います。

普通であれば、もう秋の気配がただよう頃であってもいいのに、本当に暑い日が続きます。「中川さん、東京と地元を行ったり来たりで大変やな。」と、皆さんには言っていますが、しかし、本当は楽しいことの方が多いのです。目を輝かせて、さまざまな世界を生き、輝いている人たちとの出会いがあります。

白子の駅前を、今度は本当にやれる事から活性化しようとした宇田さんとその仲間達。

ベトナムで小学校の支援活動を長年続ける中で多くの子供達が巣立ち、世界中に人のネットワークを張る。国内ではハンセン病の患者救済の中心になって、子供達にも人権の大切さをとく村田さん。

コミュニティーの大切さから民間の三重県の防災システムを立ち上げ、今ではそれを日本のお手本にまで成長させた阿部さん。

私も先日参加したトイレ掃除運動。磨いた後に

一度謙虚に作ります。初心に帰って、「静かに耳を傾ける。力強く動く。」を心がけます。「正春さん、一度出ておいでよ。話があるから。」と、声をかけて下さい。

○三重県5区には金子洋一氏。

民主党5区(伊勢志摩から紀州)の公認候補が決まりました。金子洋一さん41歳。早稲田や東大で

便器がかわいくなってくる体験をさせてくれた高倉さん。

子供劇場で元気な踊り子チームを作り上げているお母さん達。まだまだありますが、ここにあげれば切りがない。元気印のある人々と、いい出会いがあることが、私のエネルギーです。